

3 筆者の考えを読み取り、要旨をまとめる

足利市立南小学校 内田仁志

使用教材：「見立てる」「生き物は円柱形」（五年）

1 はじめに

▼筆者の考えを読み取る
本単元は、筆者の主張したいことは何なのかを読み取って要旨をとらえ、自分の考えを深めることをねらいとしている。二つの教材を使って論理性を丁寧に見つけ、筆者の主張を理解させていきたい。

▼段落構成に着目する

論理展開を理解するためには、段落構成を理解することが必須である。それぞれの形式段落がどのような意味を持ち、文章全体を俯瞰した場合、どのような働きをしているのか、理解することが必要になる。

▼言語感覚に敏感になろう

段落にどのようなつながりをもたせているか、筆者の工夫を読み取るためには語句の意味に注意を払う必要がある。また、文末表現が疑問形か断定かで筆者の疑問か主張かが明らかになる、必ずそれらに注意して、段落構成を考えさせたい。

2 指導計画（全七時間）

- 第一時** 「見立てる」を読み、文章構成や例の挙げ方について考えながら、筆者の考えをまとめる。
- 第二時** 学習計画を立てる。
- 第三時** 「生き物は円柱形」を読み、共感・疑問・納得したことを五十字程度で書く。
- 第四時** 段落構成に注意しながら、文章構成をとらえる。特に接続表現に注意し、段落と段落のつながりを考えるようにする。
- 第五時** 文章表現から筆者の論の進め方についてグループで話し合い、メモにまとめる。
- 第六時** 文章の要旨を百五十字程度にまとめる。また、初めに書いた感想と比べながら、筆者の考えや文章の書き方について、自分の考えをまとめ、発表しあう。
- 第七時** 学習の手引きの「言葉」（P.48）を読み、主語・述語の関係を確認し、文を結合・分解する練習をする。

3 指導の実際

「見立てる」では、文章全体を「始まり」「中」「まとめ」という三つの大きなまとまりに分けて読み取って学習した。「生き物は円柱形」でも、まず全体を大きく三つに分け、それから形式段落がどのようなつながりをもっているのか考えてみたい。（丸付の数字は形式段落）

始まり
① 生き物には「形が円柱形だ」という共通性がある。
筆者の考え

中
② 指もうでも足も首も胴体も円柱形だ。
例一

③ ミミズやヘビ、ウナギ、植物も円柱形だ。
例二

④ 例外もある。
反論

⑤ しかし、チョウも円柱形、木の葉や枝、木全体も円柱形といえる。
反論の反論

この単元では、要旨は百五十字以内でまとめるように指示されている。その字数でまとめるには例が示されている段落②から⑤を省略し、さらに⑥から⑨の文章を簡略化するとよいだろう。

4 おわりに

要旨は筆者の一番主張したいことをまとめたものである。そこには読み手の感想は入れてはいけない。あくまでも文章の論理構成から筆者の主張を、まとめるよう注意したい。

この文章の論理性を読み解き、要旨をまとめさせることは、今後、児童が自分の考えをまとめる際にも大いに役立ち、また、論理的な文章を書くための一助となるだろう。

まとめ

- ⑩ 円柱形は強くて速い。だから生き物の体の基本となっているのである。
筆者の結論
- ⑪ 多様なものから共通性を見いだし、なぜ同じなのかを考えることもおもしろい。
筆者の考え

疑問への回答一

⑨ 円柱形は速い形でもある。ミミズやマグロが円柱形なのもていこうが少ないからである。

疑問への回答二

⑧ 円柱形は強い形なのである。これは生き物にとって重要である。

筆者の疑問

⑥ 円柱形だとどんないいことがあるのだろうか。

実証

⑦ 新聞紙の円柱形は角柱よりも強い。

▼要旨をまとめる

「見立てる」で、筆者の考えは文章の始まりやまとめに多いことを学習したので、ここでは始まりとまとめに着目させる。特に、⑩の「円柱形は強くて速い。」と、

生き物には「形が円柱形だ」という共通性がある (①)。
指もうでも足も首も胴体も円柱形だ (②)。ミミズやヘビ、ウナギ、植物も円柱形だ (③)。
もちろん例外もある (④)。しかし、羽や葉は平たいけど、チョウも円柱形、木の葉や枝、木全体も円柱形である (⑤)。円柱形だとどんないいことがあるのだろうか (⑥)。
新聞紙の円柱形は角柱よりも強い (⑦)。円柱形は強い形なのである。これは生き物にとって重要である (⑧)。
円柱形は速い形でもある。ミミズやマグロが円柱形なのもていこうが少ないからである (⑨)。
円柱形は強くて速い。だから生き物の体の基本となっているのである (⑩)。多様なものから共通性を見いだし、なぜ同じなのかを考えることもおもしろい (⑪)。
【要約例 二百八十字】